



【お名前】

むらい ひでき  
村井 秀樹

【現職（所属）】

学校法人 日本大学商学部  
教授

【略歴】

1962年8月 香川県高松市に生まれる。

- 1986年3月 日本大学商学部会計学科卒業、1992年3月 日本大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学（この間、副手、助手となる）
- 1992年4月 日本大学専任講師（商学部勤務）
- 1996年3月から1998年3月まで、カナダ・ウオータール大学（University of Waterloo）客員研究員
- 2004年10月 日本大学教授（商学部勤務）となり、現在に至る。
- 2006年9月 ポーランド・ウッジ大学招聘教授、2008年2月 台湾・東呉大学招聘教授

専門分野は、財務会計論。特に現在の研究テーマは、地球温暖化に伴うカーボン価値会計の構築である。1995年から温室効果ガスの排出量取引に係わる会計問題に取り組み、現在はカーボン債務に関して問題意識を拡張している。また、環境経営学会のサステナブル経営格付にて多くのCSR報告書の評価や第三者意見を執筆している。

【カーボンオフセットに関する取組、一言コメント】

カーボンオフセットは、身近なところからほんの少し「eco」を意識し、自己満足を味わいながら行うことが肝心です。そうでなければ、長続きしません。これまで当たり前前に消費していたことに、少し疑問を持つことから始まります。これは生活の質（クオリティー）を下げることはありません。このわずかな「eco意識」が少しずつ私たちの身近な人に広がれば、やがて大きな流れとなり、国民全体に広がっていくと思います。私たち一人ひとりの「eco行動」は僅かな一歩かもしれませんが、私たちが住んでいる地球にとっては大きな一歩になると確信しています。